

650
18.4.11

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組)/〒543-0021大阪市
天王寺区東高津町7-11大阪
府教育会館4階412号/TEL
06-6765-1558 FAX06-6765-
1268/発行責任者=石田精三
/編集責任者=韓秀根

★2018 沖縄平和行進結団式
5月7日(月) 18:15 ~
たかつガーデン8階
*行進参加者は必ず参加を
★2018 沖縄平和行進
5月11日(金)~13日(日)

全員で声かけ! 大阪教組のつながりを広げよう! 組合員100人増やそう運動展開中!



つながり、広がる青年部活動 写真は2017年のユースラリー

大阪教組は昨年度、多くの新たな組合員を仲間として迎えた。これは、各単組や職場での丁寧な声かけの成果である。

大阪教組は「平和・人権・環境・共生」を基軸に、子どもたちの未来に責任を持ち、一人ひとりの子どもたちに寄り添う教育実践や教職員の生活に関わる課題解決にむけて、さまざまな運動を展開し、大阪の教育現場を牽引してきた。大阪教組への共感が組合員拡大という成果につながっている。今年もさらなる教育研究活動の充実と働きやすい職場づくりを子どもたちにとってより良い教育環境をつくる

と取り組むをすすめていく。4月は、組合加入への声かけの絶好の機会である。年度当初のスタートダッシュ

がさらなる組織拡大の鍵となる。分会会議や新転任歓迎会等を積極的に設定し、組合員全員で大阪教組の

りくみと大切さを伝え、共感を信頼を深めていこう。今年度も大阪教組は、組合員100人増やそう運動

を展開中だ。実績と成果に誇りを持ち、組合員全員の声をかけ、多くの仲間を増やし、つながりを広げよう

また、参加した人たちの笑顔を見て、青年部の役員としてのやりがいも感じました。

仲間と出会う、つながる場。そして、同じ思いをもつ仲間と一緒に、子どもたちに向かっていることによるこびとやりがいを感じています。子どもたちと過ごすこの仕事は、とても素晴らしいもの。誰もが安心して長く働けるように、できるようなことを

ともに声を挙げていきたいと思います。すべては子どもたちのために

大阪教組青年部長 橋本 佳祐

大阪教組書記次長 久壽里 麻衣

大阪教組書記次長 久壽里 麻衣

大阪教組書記次長 久壽里 麻衣

昨年4月に文科省が公表した勤務実態調査結果(速報値・2016年度)で、いわゆる「過労死ライン」を超えて勤務している教諭が、小学校で33・5%、中学校では57・7%に上っていることが改めて明らかになりました。こうした結果や電通での長時間労働による自死事案などを受け、公立学校教職員の過酷な勤務実態がマスコミ報道等によって、広く知られるようになりまし。文科省は中教審に特別部会を設置して対

また現在、学校現場ではインクルージョンとは真逆な、教育を競争原理に委ねるための投資・商品と位置付ける動き、つまり公教育を市場化する動きが急速に強まっています。子ども

組合活動は「仲間とつながることの喜びと意味」を伝えることが大切です。職場で「時代の風潮」に流されることなく、確固たる価値観・信念を持つこと、そしてマニュアルやテクニックに

昨年4月に文科省が公表した勤務実態調査結果(速報値・2016年度)で、いわゆる「過労死ライン」を超えて勤務している教諭が、小学校で33・5%、中学校では57・7%に上っていることが改めて明らかになりました。こうした結果や電通での長時間労働による自死事案などを受け、公立学校教職員の過酷な勤務実態がマスコミ報道等によって、広く知られるようになりまし。文科省は中教審に特別部会を設置して対

また現在、学校現場ではインクルージョンとは真逆な、教育を競争原理に委ねるための投資・商品と位置付ける動き、つまり公教育を市場化する動きが急速に強まっています。子ども

組合活動は「仲間とつながることの喜びと意味」を伝えることが大切です。職場で「時代の風潮」に流されることなく、確固たる価値観・信念を持つこと、そしてマニュアルやテクニックに



学校現場の長時間労働を改善するには、教職員の「意識改革」に依拠するのではなく、1人当たりの業務削減が不可欠で、そのために、教職員定数の計画的改善や持ち授業時間数の削減などについて、世論形成を強める必要があります。また現在、学校現場ではインクルージョンとは真逆な、教育を競争原理に委ねるための投資・商品と位置付ける動き、つまり公教育を市場化する動きが急速に強まっています。子ども

組合活動は「仲間とつながることの喜びと意味」を伝えることが大切です。職場で「時代の風潮」に流されることなく、確固たる価値観・信念を持つこと、そしてマニュアルやテクニックに

中央執行委員長 石田 精三
学校に真の「働き方改革」の風を吹かせ
ゆとりを実感できる職場をとものに創ろう

日教組第107回臨時大会

新たに塩崎考江さんが中央執行委員に

水岡俊一(みずおか しゅんいち)さんを

日政連予定候補に決定

参議院 水岡 俊一



私は、「学校」という場が、そこで学ぶ子どもたち、働く人たちが、働くこと、安心して、笑顔で過ごせる場所であってほしいと強く思っています。初任校で、晩ご飯も食わず、自分でお風呂に入り寝るといった生活をしている子どもに出会いました。がんばります。場所がはがえど、みなさんと思いは同じです。すべては子どもたちのために、とがんばりましょう!

私は組合を通して、困ったときは先輩たちに助けていただき、学習会や交流会では、教職員として大切なことを学び、たくさん仲間とつながる機会がありました。この安心の輪が、どんどん広がっていき、今年度は私からみなさんへと働きかけができるようにがんばります。場所がはがえど、みなさんと思いは同じです。すべては子どもたちのために、と

また、参加した人たちの笑顔を見て、青年部の役員としてのやりがいも感じました。



日政連予定候補に決まった水岡俊一さん

また、参加した人たちの笑顔を見て、青年部の役員としてのやりがいも感じました。

3月23日、日本教育会館にて日教組第107回臨時大会が開催された。17年度の経過と7月を目標とする当面の運動方針を決定、18年度役員選挙を行った。

泉委員長は、冒頭のあいさつで、学校における働き方改革、憲法「改正」問題、組織強化・拡大について決意を述べた。

中央執行委員長は、リバテイのおおさかについて質した。日教組は、「これまで同様、地元の大阪教組と連携し、支援していく」と回答した。討論では、岡本共右大阪

市教組書記長は、分会会議訴訟への支援に感謝を述べつつ、高裁へ闘いの場が移るにあたり「地裁判決は極めて不当で、憲法28条で保障された組合の団結権を侵害する違憲・違法な判決だ。あたり前の組合活動が保障

切です。また、職場で困っている一人の「こんな風に変わればいいのになあ」という「つぶやき」を要求化

し、実現していきましょう。新規採用者をはじめとする皆さんが大阪教組に加入することが、現状を変える

大きな力となります。大阪教組の仲間の輪と一緒に、より大きくすることをお願

されるまで粘り強く闘うので引き続き支援を」と強く訴えた。また、第25回参議院議員選挙で水岡俊一(みずおか しゅんいち)さんを日政連予定候補とすることを決めた。

教え子を再び戦場に送るな

